

WakU²中部支部

学生自動車研究会活動 学生フォーミュラ 2022.9.6 Tue - 10 Sat

at 静岡県小笠山総合運動公園(エコパ)



THEME 学生フォーミュラ日本大会2022へ参戦

第20回学生フォーミュラ日本大会2022が、9月6日から10日に静岡県小笠山総合運動公園エコパにて開催されました。コロナの影響で2020年の18回大会は中止、2021年の19回大会はオンラインで実施可能な静的審査のみの開催となりましたので、3年ぶりのエコパでの学生フォーミュラ日本大会になります。学生たちが待ち望んだ大会です。

学生フォーミュラ日本大会は、ものづくりの総合力を鍛える人材育成を目的とする自動車を題材とした設計コンテストになります。学生自らが設計・製作したフォーミュラスタイルの小型レーシングカーで競技をおこないます。設計・製作の結果として速さを競う動的審査と、設計手法や量産コスト、販売戦略を競う静的審査の合計で評価されます。この審査を通して自動車メーカーで開発の際におこなわれる工程を学生のうちに体験することになります。自由な発想でものづくりを体験することは、学生を非常に成長させます。現在では、多くの学生フォー

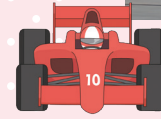
ミュラ経験者が、社会に出て優秀なエンジニアとして活躍しています。

例年は約90チームの参加がありますが、今大会はコロナのために、国内チームのみ54チームが参加しました。そのうち中部からは13チームが参加しています。結果は8種目中6種目で1位を獲得した京都工芸繊維大学の圧勝でした。

今大会は、コロナの関係で一般来場者はピットエリアに入ることができませんでしたが、例年はチームメンバーとも交流できる大会です。2023年は学生たちの1年間の活動の成果をぜひ会場に見に来てください。皆様のご来場をお待ちしております。

これまでの走行動画やチーム紹介などは、YouTubeで「学生フォーミュラ」と検索すると視聴できます。また、学生フォーミュラ日本大会についての詳しい情報は下記HPをご覧ください。
<https://www.jsae.or.jp/formula/jp/>

参加者の声



SNSで仲良くなったお友達と実際に会えてうれしかったです。(4年生)

車検頑張ればちゃんと通りそうだったので悔しい。自分の過失を感じました。(4年生)



大会の直前までブレーキに問題があり、車検が通るか怪しかったが、チームで協力して無事車検を通過することができて嬉しかった。エンデュランスを完走できなかったことは本当に悔しいが、この気持ちを来年にぶつけて、総合で1桁の順位を取れるよう1年間尽力したい。(2年生)

大会本番は車検通過できず、走ることができなかったのが悔しいです。この悔しさをばねに頑張っていこうと思いました。(3年生)



はじめての大会参加だったので大学の多さに驚きました。大会中の動きを経験できたので来年に活かしたいです。(2年生)



今回の大会はピットへの参加はできず、他大学のマシンなどを見学することができなかった。実際のマシンの走行を見るととても興奮するのでモータースポーツの魅力を感じた。(2年生)

さまざまな大学のマシンを間近で見ることができ、とても勉強になりました。もっと勉強して、速くてカッコいいマシンを作れるようになりたいと思いました。(1年生)



はじめての大会でしたが、さまざまな大学のマシンを見ることができ、来年度へのモチベーションになった。(2年生)

今回の大会で私は1年生ながら、ダイナミックバスをいただき、車両検査など、さまざまな現場に立ち合わせていただき、とても良い経験になりました。(1年生)

DATA

参加者数 6,995名 / 54チーム
スタッフ 1,088名



スケジュール

	8/22-	8/29-	9/5-
オンライン(審査)	デザイン	プレゼンテーション	コストと製造
エコパ(競技)			車検 スキッドパッド/アクセラレーション/オートクロス エンデュランス/効率

大会結果 (総合優秀賞)



1 京都工芸繊維大学

〈ICV総合優秀賞〉京都工芸繊維大学



2 京都大学



3 日本自動車大学校

〈EV総合優秀賞〉静岡理科大学EV

